国宝決定記念

第101回企画展

綿貫観音山古墳のすべて

2020年
7月18日(土)～
9月6日(日)

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
休 館 日／毎週月曜日(8月10日を除く)
観 覧 料／一般700(560)円・大高生350(280)円・中学生以下無料
＊(　)内は、20名以上の団体割引料金
＊障害者手帳持参者とその介護者1名は無料

beyond 2020

群馬県立歴史博物館
Gunma Prefectural Museum of History
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 Tel:027-346-5522 Fax:027-346-5534

第１部　綿貫観音山古墳の世界

普段展示していない品目も含め、一挙公開します。

①

国宝指定が決定した群馬県綿貫観音山古墳出土品は、東日本で最もまとまった古墳副葬品であり、日本国内はもとより朝鮮半島や中国の同時代史の中でも重要な位置を占めます。この歴史的価値を、最新の研究成果を加えながら、改めて情報発信します。

今回の展示会では、特に金工品を中心として、福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品（国宝）や奈良県藤ノ木古墳出土品（国宝）など、６世紀の日本の対外交流を象徴する代表的な資料との比較から、当時の東アジアの中における上毛野地域の歴史的位置づけを行い、その成果を披露します。

第２部　倭国、珠玉の金工品世界 ～国宝・沖ノ島、藤ノ木古墳、そして綿貫観音山古墳

国宝2件、重要文化財4件が勢ぞろいします。

②

③

第３部　上毛野国から東アジアを望む

群馬県出土の渡来系文物が大集合します。

④

関連事業

オンラインイベント

会期中、youtubeにて期間限定公開します。詳細は当館HPをご覧下さい。

❶ **特別講演**（全4シリーズ、各約15分程度）
「綿貫観音山古墳の世界」
講師：右島和夫（当館特別館長）
古墳研究者の右島特別館長が、4つの視点から観音山古墳を解き明かします。

❷ **観音山古墳空中解説**（全3シリーズ、各約3分程度）
ナビゲーター：深澤敦仁（当館学芸係長）
観音山古墳を空から見ながら解説します。

❸ **展示品解説**（全6シリーズ、各約3分程度）
ナビゲーター：飯田浩光（当館学芸員）
担当学芸員が厳選の展示品を紹介します。

モーニングイベント

展示解説
会場：群馬県立歴史博物館 企画展示室
時間：９：40～、約30分程度

❶ **オープニングトーク**：右島和夫（当館特別館長）7/18
❷ **水曜トーク**：担当学芸員　7/22・7/29・8/5・8/12・8/19・8/26・9/2
❸ **ウィークエンドトーク**：担当学芸員　7/25・8/1・8/15・8/21・8/29・9/4
❹ **エンディングトーク**：右島和夫（当館特別館長）9/6

● **電　車**：東京方面から／上越新幹線・北陸新幹線　東京～高崎（約1時間）
高崎線　上野～高崎・倉賀野（約1時間50分）

● **バ　ス**：高崎市内循環バス「ぐるりん」
JR高崎駅東口から「岩鼻線」（約25分）、「群馬の森線」（約26～38分）
JR倉賀野駅から「岩鼻線」（約9分）　※いずれもバス停「群馬の森」下車

● **自動車**：関越自動車道／高崎玉村スマートICから（車で約8分）、高崎ＩＣから（車で約15分）
北関東自動車道／前橋南ＩＣから（車で約15分）
上信越自動車道／藤岡ＩＣから（車で約10分）

① 群馬県綿貫観音山古墳出土品（群馬県高崎市）
文化庁蔵/群馬県立歴史博物館保管【重要文化財】
※令和2年3月19日国宝答申決定

② 沖ノ島7号・8号祭祀遺跡（福岡県宗像市）
金銅製歩揺付飾金具　宗像大社蔵【国宝】

③ 藤ノ木古墳（奈良県斑鳩町）
金銅製棘葉形杏葉
文化庁蔵/奈良県立橿原考古学研究所保管【国宝】

④ 八幡観音塚古墳（群馬県高崎市）
金銅製心葉形杏葉
高崎市蔵／高崎市観音塚考古資料館保管【重要文化財】

群馬県立歴史博物館
Gunma Prefectural Museum of History
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 TEL 027-346-5522
FAX 027-346-5534 http://grekisi.pref.gunma.jp/